

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム かつひろの家

作成日：令和4年1月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映複合型の建物に移り、玄関からホームを見渡すことが出来ず、またホームの入口までの距離もあり、訪ねにくくなったとご利用者ご家族の声がある。家族が来訪しやすいよう、玄関からグループホームの入口まで、グループホームの生活の雰囲気を感じられるような工夫を職員間で検討が必要。	複合型の建物に移ったことで、グループホーム単独よりも他職種の職員（看護師、デイサービス職員等）と関わることで、社会性ができたと感じる。今後も複合型の良さを活かしていく。	グループホームの玄関が一目でわかるよう、グループホームの入口に季節感のあるものを飾る。現在、ご利用者の制作した羽子板・獅子舞・だるまを飾っている。今後も来訪者にグループホームの雰囲気を感じていただくよう工夫する。（秋：きのこ・栗、クリスマス飾り、節分：鬼などを飾る）	12 か月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 今後に向けて、特養の協力を得ながら、医療と介護の連携体制を確立し、ホームでの看取りが可能となるよう、法人も含め検討を進めることを期待する。	ご本人・ご家族やかかりつけ医など関係者と話し合いを持ち、今後について延命治療を希望するかどうかも相談していく。 ご利用者・ご家族が安心して暮らせるよう支援していく。	ご利用者・ご家族は、終末期はどこで迎えたいのか希望・要望を聞く。ご家族が病院を希望する場合もある。ご家族の考えもその都度変わる。看取りについて、職員の勉強会を行い、スキルアップを図る。ご利用者の状態把握に努める。	12 か月
3					か月
4					か月